

平成 29 年度学融合レクチャー実施案内

「研究戦略ロードマッピング」

平成 29 年 6 月 1 日（木）～2 日（金） 2 日間

1. 授業概要

自分の研究の戦略ロードマップについて、演習を通して作成する。それにより、自分の研究と社会や政策のあり方を戦略的・俯瞰的に考え、未来志向的な視点を身につける。（ロードマップに関しては参考図書を参照）

2. 日程

日時	時間数 (分)	講義と演習
6/1 9:30-11:00	90	講義 1 「自分の研究と社会との関わり 1 : 宇宙と地球」
6/1 11:10-12:40	90	講義 2 「自分の研究と社会との関わり 2 : 人類誕生、近代、現代、未来」
6/1 13:40-15:40	120	講義 3 「研究を戦略的に考えるとは何か、ロードマッピングとは、ロードマッピング手法の説明・演習の手順」
6/1 16:00-17:30	90	演習 1 「ロードマッピング演習 1 : Vision の策定、社会状況の把握、発表」
6/1 17:30-18:30	60	演習 2 「ロードマッピング演習 2 : 応用研究要素の洗い出し、発表」
6/1		～復習～ (初日の内容を復習し、翌日の演習で作成するロードマップの概要を事前にある程度準備しておく。)
6/2 9:30-10:30	60	演習 3 「ロードマッピング演習 3 : 基礎研究要素の洗い出し、発表」
6/2 10:30-11:30	60	演習 4 「ロードマッピング演習 4 : グリッドの作成、要素間の関連付け、ロードマップ作成」
6/2 11:30-15:30 (incl. lunch time)	180	演習 5 「ロードマップ完成、シナリオ作成」
6/2 15:30-18:00	150	演習 6 「発表」

事前学習：2000 年から 2030 年をおおよその目途に、あなたの研究あるいは研究分野と社会状況との関係（自分の考える関わり）を考え、研究に関係する社会状況の要素をリストアップし時系列に沿って書き出さない。 (A4 1 枚) 演習で使用するため、当日持参してください。※「あなたの研究あるいは研究分野」の範囲は「自分」および「研究室、あるいは研究科」程度を範囲とします。その範囲に関わる社会状況を考えてください。

参考図書：

- Phaal, R. et al. (2011). Roadmapping for Strategy and Innovation: Aligning technology and markets in a dynamic world, University of Cambridge:UK.
- Phaal, R. & Aughton, D.(2013). Roadmapping for strategy and innovation, http://www.ifm.eng.cam.ac.uk/uploads/Events/Briefing_Day_2013/Roadmapping.pdf
- Dreborg, K. (1996) "Essense of backcasting," Futures, vol.28, No.9, pp.813-828.
- <https://www.nasa.gov/langley/earth-science-vision-roadmap> (ロードマップの例 NASA)
- <http://www.meti.go.jp/committee/materials2/downloadfiles/g90427b13j.pdf> (基礎研究ロードマップの例、 P5-P9 の実証の部分を「社会」と読み替える) 日本語

3. 開催場所：国立情報学研究所 20F 2001A・2001B 教室
(〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2)

4. 担当教員：

総合研究大学院大学
極域科学専攻 教授 伊村智
情報学専攻 教授 武田英明
学融合推進センター 特任准教授 西中美和
学融合推進センター 助教 小松睦美
学融合推進センター 助教 内川明佳

5. 対象者：本学および他大学の大学院生（修士課程および博士課程の全学年対象）
学外者についても、本学が認めた者に限り、参加することができます。
(受講申込み多数の場合は本学の学生を優先します。)

6. 単位数：1 単位

7. 使用言語：英語（日本語を併用する）

8. 参加申込方法：

参加申込書及び口座振込依頼書（学内者のみ）を平成 29 年 5 月 19 日（金）までに学融合推進事務室総務係宛（cpis-office@ml.soken.ac.jp）に提出してください。なお、受講申込多数の場合は、本学の学生を優先します。

9. 経費支援：

- 本学の学生には、本学規程に基づき学生移動経費（交通費の一部及び宿泊費（所定額））が支給されます。口座振込依頼書にご記入いただいた口座に後日振込となりますので、立替えてのお支払いをお願いいたします。
- 食事代金等については、自己負担となります。
- 所属機関から開催場所（情報研）までの交通費について、JR の乗車区間が片道 100km を超える場合、学割運賃が適用された金額での支給となるため、各基盤の専攻担当係において、学割証の申請手続きを行ってください。

10. 宿泊に関する注意事項：

- ・本レクチャーは、宿泊施設の用意はありません。6月1日の宿泊および前・後泊*を希望される場合は、各自において宿泊の手配を行ってください。(支給上限額は、1泊につき8,700円) その際、宿泊に伴う食事代金については自己負担となりますので、宿泊代金のみが記載された領収書を、レクチャー終了後一週間以内に、学融合推進事務室総務係宛に郵送してください。宿泊代金とその他(食事代金等)が合算されて記載されている場合は、それぞれの項目の金額がわかる明細書類を併せて郵送してください。

11. 備考：

- ・参加申込書には、指導教員の署名または捺印が必要です。予め指導教員から本レクチャーの受講について承認をいただき、お申し込みください。申込書類は、E-mailにて学融合推進事務室総務係までご提出ください。その際、cc.には指導教員をご指定ください。
- ・参加申込書をもって、授業科目「学融合レクチャー」の履修が登録されます。
- ・参加申込書に記載いただく個人情報は、本レクチャーの実施の目的に限り使用します。
- ・参加申込書を受信後、学融合推進事務室総務係より、受付確認のメールをお送りします。一週間以上経過しても受付確認のメールが届かない場合は、学融合推進事務室総務係までご連絡ください。

12. 問い合わせ先：

◎本件プログラムの実施に関すること

学融合推進センター 特任准教授 西中美和

Tel: 046-858-1962 E-mail: nishinaka_miwa@soken.sac.jp

◎申込に関すること

学融合推進事務室総務係

Tel: 046-858-1629/1657 E-mail: cpis-office@ml.soken.ac.jp

〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村) 総合研究大学院大学

-
- * ・各日、午前7時以前に自宅を出発する必要がある場合、午後11時過ぎに自宅に帰宅することとなる場合は宿泊が認められます。
 - ・原則として、「駅すばあと」(<https://roote.ekispert.net>)により検索した第1候補の経路(所属する専攻所在地～神保町 or 竹橋(情報研))で計算してください。